

令和8年度 学校経営計画書

学校番号	34	学校名	静岡県立静岡高等学校定時制	校長名	織田 敦
------	----	-----	---------------	-----	------

1 スクール・ミッション

静岡地区における普通科の夜間定時制として、生徒一人一人に応じた、きめ細かくあたたかみのある教育を通して、自己実現に向けて、常に向上心を持って粘り強く努力できる人材の育成を目指す。

2 目指す学校像

(1) 校訓

「^{こゝろ}印高（高きを仰ぐ）」

(2) 実践目標

われわれは勉強を本分とする。われわれは人に迷惑をかけない。

われわれは自主的に行動する。われわれは勤労を愛する。

(3) スクール・ポリシー

ア グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

①自己実現に向けて、主体的に学び、向上心を持って粘り強く努力できる人

②他者を思いやり異なる価値観を受け入れ、協働することができる人

③地域の一員として、自己が果たすべき役割や責任を自覚し、社会的に自立できる人

イ カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

①多様な学習活動を設定し、個に応じた最適な学びを積み重ね、自己肯定感を育む。

（印高基礎、総合的な探究の時間、体験・実習活動など）

②学校行事や特別活動を通して、自己理解及び他者との関わりを深め、協調性を育む。

（体育祭、各種鑑賞会、生徒会行事、修学旅行、LHRなど）

③様々な教育資源を活用し、自己の在り方を模索することで、たくましく生きる力を育む。

（外部機関との連携、外部講師、キャリア教育など）

ウ アドミッション・ポリシー（入学者の受け入れに関する方針）

①目標を持って意欲的に学校生活を送る意志がある者

②自他を大切にし、共に活動する意欲がある者

③将来に向かって、自らの可能性を広げたい者

(4) スクール・ポリシー具現化の柱

ア 生徒の実態を踏まえ、一人一人に応じたあたたかみのある教育活動を推進する。

イ 多様な学習活動を設定し、基礎的・基本的な学力の定着と活用できる能力を育成する。

ウ 授業や学校行事などの教育活動を通して、自己理解を深め、協調性を育む。

エ 社会的自立に向け、望ましい職業観・勤労観を育成し、進路実現を図る。

オ 生徒の心身の健康や安全に留意した学習環境の充実に努める。

カ 「働き方改革」とコンプライアンスの徹底を推進し、働きやすい環境を整える。

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	生徒の実態を踏まえ、一人一人に応じたあたたかみのある教育活動を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な情報交換会を実施し、教職員が生徒の情報を共有する。 1 学期終了時においては三者面談を行う。また、必要に応じて生徒の学校での様子を連絡するなどして、保護者との関係を密にする。 学校HPにより、学校の様子を保護者等に伝える。 学校行事や生徒情報の共有など保護者との連絡を密に行い、より良い連携を図る。 生徒の働く企業（アルバイト先等）を訪問し、情報の交換・共有を行う。 通級指導や学習支援を通して、一人一人に応じた支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 教員が生徒個々の情報を把握することで、指導の足並みを揃える。 生徒との二者面談は 100%、保護者との三者面談は 90%以上実施する。 HPの更新を月 2 回以上実施する。 家庭で保護者と会話ができたと生徒が増加する。 企業訪問を 1 回以上行い、情報共有と生徒理解に活用する。 社会性、対人関係能力が高まり、基礎学力が向上する。 	全職員
イ	多様な学習活動を設定し、基礎的・基本的な学力の定着と活用できる能力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> 少人数集団、T・T 授業、個別指導等の実施により、個々の学びに適応した指導を行う。 目標を掲げて年間 5 回の漢字コンクールを実施する。 「高校生のための学びの基礎診断」の測定ツール及び 1 年生においては学校設定科目「印高基礎」の時間を活用し、基礎学力の定着を図り、指導の検証、改善に結びつける。 「総合的な探究の時間」を通して、探究活動（探究の過程）を充実させる。 授業改善・学習改善に取り組み、生徒が主体的に学習する仕掛けを実践する。 生活に即した身近な課題を選んで教材を作成するなど、全ての教科で ICT 機器を活用し、生徒の興味・関心を引き出す。 	<ul style="list-style-type: none"> 学ぶことの楽しさを感じ、粘り強く努力する姿勢を身につける。授業がわかると回答する生徒が 80%以上になる。 漢字テストについて、全員が個人の目標を達成する。 年度当初にくらべて、基礎学力が向上したと実感できる生徒が 80%以上になる。 自らが課題を設定し、情報収集・探究・発表することで、物事に対する視野を広げる。 生徒の学習意欲が向上し、主体的に授業に参加している生徒が 80%以上になる。 授業に興味・関心を持ち取り組んでいる生徒が 80%以上になる。 	教務課 ICT 担当 (全職員)

ウ	<p>授業や学校行事などの教育活動を通して、自己理解を深め、協調性を育む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶や言葉を大切にし、場に応じた適切な言葉遣いによるコミュニケーションの指導を推進する。 ・講演会や生徒集会において、情報モラル講座や主権者教育講座を実施する。 ・修学旅行、映画鑑賞会、演劇鑑賞会、予餞会等を通して、社会的マナーを育成する。 ・体育大会、生徒会行事、生徒生活体験発表大会等の異学年交流の機会において、生徒一人一人が活躍する場を設定する。 ・1年生において、ソーシャルスキルトレーニング講座を年に複数回実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・場に応じた適切な言葉遣いができ、コミュニケーションを通して、良好な人間関係を築くことができる。 ・スマホ等の正しい使用法を理解し、主権者としての意識を高める。 ・場に応じた態度やマナーなど協調性を育み、学校生活、社会生活で活用できる。 ・振り返りアンケートで、生徒会行事等を通じて、自己肯定感が高まったと回答する生徒の割合が80%以上になる。 ・自己理解を深め、生徒が互いの意見や行動を認め合い、責任をもった行動ができる。 	<p>生徒課 人権担当 特別活動担当 (全職員)</p>
エ	<p>社会的自立に向け、望ましい職業観・勤労観を育成し、進路実現を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体系的なキャリア教育の実施のため、年間指導計画と「進路のしおり」を活用する。 ・早い段階から進路を意識させるために、全学年を対象としたキャリア教育講座などを実施し、自己の在り方を模索する。 ・進路目標を見据えた学校生活に関する振り返りを各学期に実施し、進路意識の向上を図る。 ・年間2回、外部機関と連携した進路学習日、進路講演会を実施する。 ・ハローワークやジョブステーションなど、外部機関との連携を密に就労を支援する。 ・職業体験を推進し、在学中の就労を体験する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年次ごとの段階的なキャリア教育により、職業観・勤労観を養う。 ・自己を振り返り、見通しを立てることで成長を実感し、進路目標が明確になる。 ・進路意識の向上とともに、希望進路の実現率100%を達成する。 ・進路実現に向けた意識を高め、行動に繋げることのできる生徒数が増加する。 ・ハローワーク等、外部機関との連携を行い、計画的に指導する。 ・アルバイトによる就労率80%以上となる。 	<p>進路担当 教務課 (全職員)</p>
オ	<p>生徒の心身の健康や安全に留意した学習環境の充実に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全教室、二輪車グッドマナー講習会を実施し、安全意識の啓発を図る。 ・防災訓練、KYT（危険予知ト 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒及び教員の交通事故0件を達成する。 ・校内外における地震、火災等の際、避難方法を生徒・ 	<p>交通担当 防災担当</p>

		<p>レーニング)等の防災行事を充実させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 警察署、学校薬剤師を講師とする薬学講座を実施する。 生徒相談体制として、新入生面談、放課後相談など定期的な面談などの充実を図る。 日頃から生徒に対しての声かけを意識的に行い、生徒観察や言動に注意を払う。 健康な生活を送ることの大切さを伝え、生活習慣を確立することで、欠席、遅刻日数が減少する。 多様な課題に応じて、早期に外部関係機関（SC、SSW等）との連携や支援体制サポート事業を活用し対応する。 	<p>職員が完全に理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 薬物や飲酒、喫煙など身体的影響に関する理解率が向上する。 振り返りアンケートで、「相談しやすい」と回答する生徒の割合が80%以上になる。 いじめや体罰を許さない環境にすることで、いじめの早期発見に努め、いじめによる生徒指導件数0件を達成する。 心身の健康を保持させることで欠席、遅刻日数が減少する。 発達段階や偏り、成育歴などの多様性に応じた指導・支援の充実により、早期対応・早期解決を図る。 	<p>教育相談 養護教諭 (全職員)</p>
カ	<p>「働き方改革」とコンプライアンスの徹底を推進し、働きやすい環境を整える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 行事のねらいを整理し、行事ごとに振り返り及び効果の検証を行い、見直しに役立てる。 職員間の会話を増やし、風通しの良い環境をつくる。 管理職による積極的な休暇取得及び教職員の資質向上とコンプライアンスの徹底を呼びかける。 	<ul style="list-style-type: none"> 行事の効果を確認し、見直し、改善を行う。 働きやすく、意欲的に働ける環境であると職員が感じている。 夏季休暇の取得 100% 年休の取得 年10日以上の職員の割合 90% 校外、オンライン研修への参加 全職員 不祥事発生 0件 	<p>管理職 (全職員)</p>